

週 報

2025 年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

＜先週の説教から＞

『新年礼拝・ルカ 64—主につながり、根を張り、
枝をひろげて』 武田 真 治 牧 師

詩 編 1：1～3 ルカ福音書 8：11～15

今年も、新しい年をこうして礼拝をもって迎えられますことを心より感謝しております。本年も礼拝から礼拝へと歩むことで各々の一年を生き抜いていければと願っています。

一年の最初の礼拝では、改めて年間の教会標語にもう一度思いを馳せています。即ち『主につながる、根を張り、枝をひろげて』です。前の年の教会標語で『主につながり、その枝としてひろげて』として、コロナ禍が終わり、いよいよ世に出て行こうという思いで始めましたが、実際にはまだコロナ禍が尾を引き、他の伝染病も拡がり、なかなかそう出来なかったことを踏まえ、今年度は、もっとこの地にしっかりと『根を張って行きたい』との思いを含めて、この年間標語にしたのでした。それ故、地元の音楽家のコンサートと市内の大学の聖歌隊とハンドベルを招いたコンサート等を開催しました。また、降って沸いたように幼稚園のこども園化申請の話が起こり、最初は戸惑いでしたが、これからも地域に根を張って行きたいという御導きかと受け止めて来ました。

そして年間標語に併せて年間聖句として選びましたのは、コロサイ書 2章 6～7 節ですが、本日は続けて読み進めているルカ書の箇所がちょうど“根を張れ”という聖書箇所となり、これも主の御導きだろうと私は教えられてばかりです。

即ち『石地のものとは、御言葉を聞くと喜んで受け入れるが、根がないので、しばらくは信じて、試練に遭うと身を引いてしまう人たちのことである』です。まさに私たちの姿はこの言葉通りになってしまいがちだと思わされます。とても心を高めてくれて、かつ納得できるような聖書の言葉に惹かれて、イエス様について行こうと決めたものの、うまく行かない出来事や困難（＝試練）に出会ってしまうと、すぐに教会に行かなくなり、信仰を止めてしまうようなことでしょう。あるいは、自分にとって都合の良い、耳触りの良い言葉なら受け入れますが、厳しいイエス様の言葉や納得がいかな

い聖句や信徒の姿に出会うと「身を引いてしまう」ことかもしれません。そのような人たちの状況に対してイエス様は『（あなたの中に）根がない』とされているのです。

この場合の「根」とは何なのでしょう？ この後、イエス様は『良い土地に落ちたのは、善い心でみ言葉を聞き、よく守り（原文の意味は「保持する」）、忍耐して実を結ぶ人たちである』とされています。故に『根』とは、①聞いたみ言葉を自らの生き方や人生の中で深く受け止めて行くこと、②これまでの信仰に基づく経験値のこと、③耐えることが出来る力、等ではないでしょうか。少なくとも、自分の考えに合わない、耳触りが良くないと自分勝手に撥ね退けないで、ひとまず自分への御言葉として受け止められることが、その人の中に『根がある』ということでしょう。

今年も色々な出来事があるかと思います。すぐ結論を急いでしまいますが、主の導きがどこにあるかと問いながら、しっかりと受け止められる生き方へと導かれます様に！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 1月7日（水）20：00
II. 1月8日（木）10：30

聖書研究： ヨブ記

祈祷主題： 成人祝福・埼玉地区新年合同礼拝を覚えて

担 当 者： （水）CY （木）OK

祈りに覚える人：OK さん OH さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 17 女 52 計 69
祈 祷 会 I. 男 4 女 2 計 6 II. 男 1 女 6 計 7
日曜学校 幼稚科 4 小中 3 計 7

【次週礼拝】

1月18日（日）

聖 書： 詩 編 107：23～31

ルカによる福音書 8：19～25

説 教：「ルカ 66—私たちが滅んでもよいのですか？」 武田 真治 牧 師

讃美歌：152（1）、32、282、515、549、83（1）

【次週当番表】

司式：IH 長老 奏楽：SY 礼拝：IK 長老

献金：AC IT 受付：IY YS

会堂準備：KK KT TR NE

MH HH

看板：SC 週報：YS お花：IY

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校 ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後：・成人祝福の祈り ・SS 教師会 ・幼稚園理事會

2026 年 1 月 11 日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見 2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549